

科目ナンバリング		U-LAS05 20032 LJ31			
授業科目名 <英訳>	イスラーム思想入門 Introduction to Islamic Thought			担当者所属 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授 山口 元樹
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(各論)	使用言語 日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ
				授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	金4	配当学年 全回生
					対象学生 全学向
[授業の概要・目的]					
イスラーム世界に関する情報は、近年、日本においても、様々なニュース（中東の紛争、難民、ハラル製品ブームなど）とともに耳にする機会が多くなってきている。しかし、そうして伝わってくるイスラーム世界で起きている事象の本質や歴史的背景、そこに暮らす一般の人々が依拠している文化や思想、もしくは、ニュースには載らない様々な新しい動態を知る機会は限られている。そのため、日本ではイスラームが閉鎖的で過激な宗教であるという偏ったイメージがいまだに持たれがちである。この講義では、具体的にはイスラーム世界の思想・歴史・地域的動態を取り上げ、そのようなイメージの妥当性を再考することを大きなねらいとし、イスラーム世界をより深く・正確に理解するための基礎的なツールを提供する。今年度は、特に、イスラーム世界の（近代の改革主義思想（東南アジア））を中心に取り上げる。					
[到達目標]					
（１）マスコミの報道では知ることのできないイスラーム世界の姿を深く理解し、イスラーム像を見直すことのできる力を養う。 （２）ニュースで伝えられるイスラーム世界に関する情報の正確さを判断できる。 （３）受動的に講義を受けるだけでなく、自分で調べ、発表する能力を身につける。					
[授業計画と内容]					
講義は生き物で、その年の受講生との間で作り上げていくものなので、予定を立ててもその通り進むとは限らない。ただし、概略以下の順序で論じる。 １．オリエンテーション ２．イスラームの基礎知識（１）- 基本的な教義 ３．イスラームの基礎知識（２）- 様々な思想 ４．東南アジアの概要（１）- 地理と歴史 ５．東南アジアの概要（２）- 東南アジアのイスラーム ６．東南アジアにおけるイスラームの歴史（１）- イスラームの伝播と拡大 ７．東南アジアにおけるイスラームの歴史（２）- 植民地化の始まり ８．イスラーム改革主義 - 中東における展開 ９．イスラーム改革主義 - 改革主義思想とは １０．近代東南アジアの改革主義思想 - 改革主義思想の伝播 １１．近代東南アジアの改革主義思想 - イスラーム団体の登場と発展 １２．近代東南アジアの改革主義思想 - イスラーム伝統派との関係 １３．近代東南アジアの改革主義思想 - 独立運動との関係 １４．近代東南アジアの改革主義思想 - 独立後の展開 １５．まとめ 授業内で、レポートの書き方の説明、テーマの設定と進捗状況について参加者からの簡単な報告を行います。					
----- イスラーム思想入門(2)へ続く ↓ ↓ ↓					

イスラーム思想入門(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

(1) レポート

(2) 出席と参加の状況

(1)(2)の具体的な配分比率など成績評価に関わることは初回の講義で詳しく説明するので、履修を考えている学生は必ず初回の講義に出席してください。

[教科書]

授業中にプリント等の資料を配布します。

[参考書等]

(参考書)

山口元樹『インドネシアのイスラーム改革主義運動—アラブ人コミュニティの教育活動と社会統合』(慶応義塾大学出版会, 2018年) ISBN:4766425170

久志本裕子・野中葉編著『東南アジアのイスラームを知るための64章』(明石書店, 2023年) ISBN:9784750355245

大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』(岩波書店, 2002年) ISBN:4000802011

その他の参考書については適宜紹介します。

(関連URL)

<http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/>(大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

[授業外学修(予習・復習)等]

レポート作成にあたっては、授業内で書き方や形式を説明します。各自課題を設定し、自分の力で文献を調べ、まとめてください。

[その他(オフィスアワー等)]

レポートについて細かく指導を入れていきます。そのため受け入れ予定人数は30名です。